温室内は春の香りが充満

春分の日も過ぎ、桜だよりも南の方から次第に北方してきましただが春とはいえ十勝の朝夕は、まだ寒く、時折り名残りの雪がチラつく今日この頃ですが、温室の中は、いま盛りの春。ツツジ、アザリヤは、赤・紅・白と、いろとりどりの花を開き、訪れる方々の目を楽しませてくれます。

秋の花である菊も、日照時間の調整で小型化し、それも十二、三センチの草丈に、かわいい柴色のつぼみをつけ、アジサイの花も、いまや開く寸前。

室温は、日中は二十八度から三十度、夜間でも十度前後に保ち、それこそ我が子を育てるように丹精こめての手入れに応じて、各種の草木は、ふくいくと春の香りを室内に充満させています。

花の道楽園（相川）にて

広報 まくべつ

4/1976

—No.290—

発行 幕別町
編集 町民課広報広聴係
印刷 大同出版紙業株式会社

51年度 予算総額 3,920,261,000円

定例第一回 町議会

定例第一回町議会が三月十日に開かれ、昭和五十一年度の予算（一般会計、特別会計あわせて三十九億二千二十六万一千円）を決めたほか、各種の議案が審議されました。五十一年度にむけての町長の行政方針説明、教育委員長の教育方針説明は次のとおりです。

明るい町づくりを

大石町長 行政方針を説明

昨年五月皆さんのご推挙により町政を担当させていただくことになり、就任以来、「快適な生活環境をつくる」、「社会福祉を充実する」、「産業の振興と町民生活の向上を図る」、「教育文化の進展を期す」の四項目を基本に町政の前進につとめてまいりましたが、昭和五十年は不況の影響を受けたのをはじめ、雨による災害に見舞われ町民生活も厳しい現実にたたされた一年でありました。

町政におきましても財政運営上非常に苦慮いたしましたが経常的経費などの節減と減収補てん債などの措置により、おおむね健全に維持できたと考えております。

昭和五十一年度におきましても前途に多くの困難があろうかと思われますが、これを乗りこえ明るい町の未来を町民一同とともに築くよう最善の努力をいたす決意でございます。以下、昭和五十一年度に計画いたしました町政の各般にわたり申しあげます。

財政運営は深刻

まず財政ですが昭和四十八年秋の石油ショックを契機に、わが国の経済は大きな危機に直面しました。

総需要抑制策が構じられた結果高度成長から低成長に転じ、つれて自治体の財政運営は極めて深刻さを増しつつあるのが現状であります。

昭和五十一年度の国の予算においても景気の浮揚と国民生活の安定を揚げた総額二十四兆円余のうち七兆円余を国債に依存する現状であり、また、地方財政計画においても地方税の伸びはほとんど見られず、地方財政は極めて厳しい危機に直面しております。

本町における財政見通しについても町税、交付税など一般財源の伸びは期待できず、補助、起債に依存せざるを得ない状況にあるところから管理的経費はつとめて圧縮し健全財政の維持をはかると同時に、地方交付税の増強、補助制度の改善、超過負担の解消などについて関係機関とともに国、道にたいして強く要望してまいりたいと考えております。

私は町民の皆さんと一緒に地方自治を真剣に見直すとともに、さらに発展するよう最大の努力をいたしたいと存じます。

町総合計画を 一部手直し

「豊かな自然の中で生活を優先し生産を高める望ましい地域社会の建設」を目途に昭和四十六年度から五十五年度までの十か年計画で策定されました町総合計画は五十年度をもって前期五か年を終了いたしました。

この間、激しい経済変動と財政上の制約もあって、その実現に大きな困難がともないましたが、ほぼ初期の目的を達成し得たものと考えております。

本年度は後期五か年計画の初年度でありますが、社会の変動その他から計画の一部手直しを総合計画審議会に諮問いたし成案を得ましたので本議会にご提案申しあげた次第であります。

開町八十年記念事業

記録映画製作と 町史の編さん

本年は本町の開基八十年の年にあたります。今日の幕別町を築きあげられました先駆者の遺徳をしのび皆さんのご意見をお聞きして各種の記念事業を実施いたしたいと考えております。

さしあたって現在の幕別町の姿を後世に残すための記録映画の作

成と開基七十年に町史を発行しましたが、その後の十年間の移り変りをまとめた町史を編さんいたしたい。また、記念林を設け町民の方々の記念植樹も計画いたしたいと考えておりますが、その際は皆さんと相談いたし取り進めたいと存じます。

緊急度と優先順位で 事業を厳選

昭和五十一年度の予算編成にあたりましては財政のより効率的な運用をはかることを第一とし、一般行政費の切り詰めをおこなったほか、事業についても緊急度や優先順位などを考慮して厳選いたしました。

このように歳出においては出来る限りの圧縮をいたしましたが、なお町財政は厳しい状態にありますので自主財源確保の一環として使用料等の一部改定を実施することにいたしましたが、これは住民負担の公平を保ち適正な料金にするもので、これにより増加する財源については、さらに福祉等を充実するための財源といたしたいと考えております。

以上のような考え方によって編成いたしました新年度予算額は、

一般会計三十億二千九百六十六万七千円

国民健康保険特別会計二億七千八十七万八千円

簡易水道特別会計千百四十六万二千円

土地取得事業特別会計千八十三万円

国民宿舎事業会計二億四千五百七十九万六千円

水道事業会計二億五千百六十二万八千円

となり合計で三十九億二千二十六万一千円となりました。

昨年度まで計上いたしておりました体育施設特別会計は業務の合理化をはかるため本年度は廃止し一般会計の教育費の中に組入れてあります。

なお、当初予算において、いまだ補助、起債などの見通しを得ないため未計上の事業もありますが決定次第、予算化いたしたいと考えております。

以下、予算に計上いたしました重要な事業について申しあげます。

一般会計

相川二十号農道を舗装

基幹道路の整備については、新規に着手するものとして明野八線および札内高台線の改良工事。相川十七号農道事業、相川二十号農道舗装事業、千住十五号線凍雪害防止工事を計画しており、継続実施中の札内北通り特殊改良工事は本年度完了、軍岡大豊線凍雪害防止工事および日新線特殊改良工事は継続いたします。

橋梁の整備については美川三号橋伸長工事と相川の木下橋は本年度完了、新規に札内九号橋を二年継続で着工、宮下橋は本年度架換工事施行いたします。

本年度道が実施いたす道路整備工事としては更別幕別線凍雪害防止工事と大山橋架換工事は本年度実施されるほか明倫幕別線の凍雪害防止工事千六百㍍、特殊改良舗装は西猿別地区において千㍍実施される予定となっています。

▲ 舗装される相川20号農道

平和通りは今年度完成

都市計画関係事業のうち街路については四十七年以来継続実施してきました平和通り街路事業は本年度をもって完了いたします。

新規については幕別鉄道沿線道路、宝町団地道路、あかしや団地道路、札内鉄道沿線道路（駅前広場を含む）の改良舗装を計画いたしております。

懸案の札内通学道路と札内十号道路は用地などの問題を解決して本年着手いたしたいと考えております。

都市公園については本年度新規に春日団地三号児童公園を設置するとともに継続の幕別運動公園と新規の札内南一号児童公園、宝町児童公園用地買収などは補助確定次第補正予算をもって実施いたします。

本町の都市計画区域については本年度見直しの時期にあたりますが住居地域の区域内に多くの可住地が未造成のまま残されていることから、特に札内地区は拡大する要因がまったくなく、むしろ現区域内において土地区画整理事業を推進し対処すべきと考えられます

土地区画整理事業は権利者による組合施行が国・道の指導でもあり、本町もこの方針で進みたいと考えております。第一期計画として札内地区の国道三十八号線以北の市街化区域内の八十八㌶を施行区として昭和五十二年度事業認可を目標に本年度は地区内権利者および関係住民にたいし趣旨の普及徹底と話しあいを行ない、基本構想の成案を得たいと存じます。

▼ 852メートルの平和通りは今年完成

財政が苦しくても福祉は後退させません

災害以外の遺児にも年金を

次に町民福祉と保健について申しあげます。

昨年来より「福祉見直し」についての論議がなされており、財政や負担の問題もあって国や地方自治体ばかりでなく、国民みんなで考えていかなければならないのではないでしょうか。

私は町財政が苦境の中にあっても福祉を後退させるべきでないと考えており施策の前進につとめる所存でございます。

このような考えから本年度は見舞金制度などの額を、わずかではありますが引き上げるとともに、従来は災害により生計中心者を失った遺児に対し年金を支給していたものを災害以外の遺児にも適用するよう本議会に条例案を提案いたしております。

現在、本町には生活保護約六十世帯、要保護約四十世帯ございますが、これら世帯の緊急援助のための予算も計上いたしました。

また、福祉は物質的な援助のみでなく精神的なことにも充分意をもちいていきたいと考えております。

常設保育所については、みどり保育所の完成により保育児の定数は四百二十人となりましたが、入所申し込みが多く、札内地区に更に一か所の保育施設が必要であり道に申請いたしておりますが昨年に引続いての申請でもあり現時点では、はっきりいたしませんが実現に向って努力いたし、補助が決定した場合は予算化し建設いたす所存であります。

しかし札内地区には保育措置を要する幼児が多く、とりあえず札内保育所分室を開設し、後日追加予算を提案いたしますので、ご了解の程を、あらかじめお願いいたします。

明るく幸せな生活をしていただくには健康であることが最も大切ですので、本年度も保健婦活動を通じ住民の健康管理と疾病の予防に意を用いるとともに、妊産婦と乳児の栄養強化をはかるため道の補助事業である栄養食品（牛乳）の一定期限無料支給を実施してまいります。

医療問題につきましては地元開業医のご協力により休日の診療が確保されましたが、夜間などの緊急医療体制は確立されておらず、今後とも関係諸団体と協力し解決に努力いたしたいと存じます。

処理場用地買収と地質調査など

下水道事業

生活環境の整備について申しあげます。

公営住宅は依然として入居希望者が多く、本年度は町営初の中高層四階建住宅一棟二十四戸を建設する計画であります。

道営住宅は五十年度で一棟二十四戸の完成をみましたが、本年も引続き一棟十六戸を建設いたします。

公社の分譲住宅は、あかしや南団地に二十戸、緑町団地に十戸を積立により建設しますが、希望があれば積立によらない単年度分譲住宅の建設を、あかしや南団地に建設しても良いと考えています。

都市施設としての重要な下水道の整備については、昨年度、幕別地区公共下水道事業の認可があり本年度は処理場用地買収、盛土工事、管理棟の実施設計、地質調査等の事業をおこない、完成は鉄北地区で昭和五十七年、鉄南地区は昭和六十五年の見込みであります

札内地区の下水道整備は一市三町の十勝川流域下水道計画との関連で後年次となることが予想されるため早期着工方を関係市町村とともに道にたいし折衝いたしております。

ゴミ収集をスピード化

ゴミの処理につきましては収集範囲の広がりからゴミの量も多くなり収集車の増車等も考えなければならない時期にきておりますが本年度は処理体制を効率化し、ビニール袋による収集によりスピード化と衛生的な処理をはかっていく考えですが、住民の理解と関心を高めながら収集方法についても協力を求めたいと存じます。

また、農薬の空袋などの処理ですが、本年は処理施設を所有している隣接の町に依頼し処理いたします。

し尿の処理について本年度は処理場の能力を増加させるため住民の皆さんにご不便をかけることがない、と思います。

また、家庭の汲取りにたいし一リッター当り六十銭の町費補助をいたしておりましたが、本年度から、これを廃止し、施設拡充のための負担財源といたしたいと考えております。

交通安全対策につきまして町民

各位の努力により交通事故死ゼロを続けておりましたが、去る二月に五百日達成を目前にして悲しい事故が発生いたしました。本年も引続き交通安全に意を用いてまいりますが、交通事故は総ての人々が人命を尊び法を守り、一人ひとりの努力によって絶滅させる決意を固めていただきたいと存じます

街路灯および防犯灯の設置について各公区から多数の要望がきておりますが、本年度もできる限り増設し住民の安全をはかっていきたい。

また、各地区から設置要望の多い近隣センターについては、町単独事業での建設は困難な現状にありますので福祉関係補助事業あるいは、その他の補助事業によって設置するべく関係官庁に申請をおこなっております。

生活資金貸付は継続実施

次に、労働費について申しあげます。

現在、失業対策事業に男子五名女子一名が就労し道路清掃作業などに従事していますが、平均年令六十五歳という高年令のため冬季間の作業選択に苦慮している現状ですので、本年度からゴミ収集用ビニール袋の製作を失対事業として実施し、年間を通じ屋内作業といたしたい考えから必要な設備の予算を計上しました。

勤労者対策として実施しております福祉資金、および生活資金の貸付制度は本年度も継続実施いたします。

町営牧場の哺育と初妊牛の譲渡で 乳牛の資質向上

次に産業振興について申しあげます。

農業をとりまく諸状勢は依然として厳しいものがあり、本町の基幹産業である農業生産についても四十九年、五十年と続いた生産の低下は、湿潤と地力の減耗に起因するところが大きく、土地改良と心土破砕による耕土の改良にあわせて自給肥料の増産による地力の増進をはからなければならないと考えます。

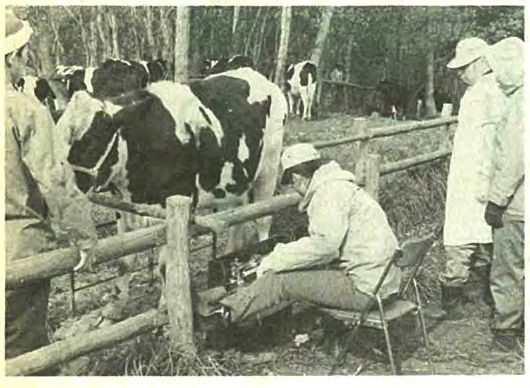
ビート、馬鈴薯、麦類などの適作物の奨励については国・道も力を入れており、これらとの関連で高能率集団育成対策事業、てん菜生産振興対策事業、農業構造改善対策事業等の諸施策を積極的に活用して生産の安定と拡大を期するよう努力いたしたいと思います。

なお、本年度実施予定の国営、道営の農業基盤整備関係の事業について申しあげます。

国営土地改良事業の直轄明渠排水事業では継続として古舞、茂発谷、新川、相川地区、新規としては上似平（美川）地区が本年より着手の予定です。

農用地開発事業では駒畠、古舞地区が継続実施され、幕別地区の畑地かんがい事業は、本年引続き調査がおこなわれます。

道営事業としては駒畠農免農道南勢畑総、大豊開拓農道、西糠内および軍岡明渠排水事業が継続して実施され、新規に猿別明渠排水事業が着手されることになっております。



社会教育の充実に努力

次に教育問題について申しあげます。

次の時代を担う青少年が健康な心身を持ち健全なる社会の一員として育つことを念願いたしております。教育については教育委員会と密接な連携のもとに学校、家庭社会教育の充実に努力するとともにスポーツの振興をはかる考えであります。

特に学校教育は社会人として巣立っていくうえに重要な役割を果すものであり、でき得る限り教育環境の整備と充実に務めてまいる所存であります。本年は待望の幕別小学校統合校舎の建設に着手いたす計画でおります。このほか古舞小学校の危険校舎改築、白人小学校第二校舎建築、その他多くの学校整備の問題が残っておりますが年次計画で整備いたしたいと存じます。

また、先生方が住居に心配なく安心して教育に専念できるよう住宅の建設も進めておりますが、本年はへき地教員住宅一戸と公立学校共済住宅六戸を建築する予定であります。

狂犬病の予防

○人間と同じように犬にも予防注射を

○犬の放し飼いはやめましょう

○不用犬は犬のポストへ、野良犬を見たら役場に連絡を

特別会計

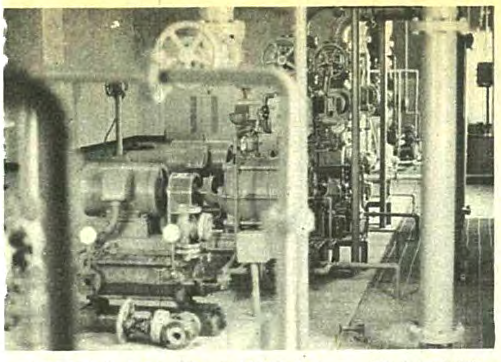
国民健康保険
税率改定は行なわず

国民健康保険特別会計について申しあげます。

国保会計は一般会計同様に極めて苦しい財政事情にあります。国保事業の主な目的は療養の給付にあり、したがいまして予算の編成にあたっては適切な医療費の推計と、それに見合う税収の確保が必要とされます。

昨年来より一般的な傾向として受診率が鈍ってきており医療費の上昇率が若干減少をきたしているとはいえ、医療無料化による影響と本年四月より九・一%の医療費改定がおこなわれる予定などもあり、本年度における医療費推計の伸びは前年度の一五・五%増で二億三千万円見込まれる次第であります。

一方、税収については、その半分程度が農家世帯の負担であり、生産の低下により生活におよぼす影響なども考慮し、本年度は税率の改定をおこなわず、不足分については準備基金の支済により補てんいたしたいと考えています。



12月から札内の一部へ水が送られます…(浄水場内部)

上水道
配水本管を布設(札内市街)

次に水道事業について申しあげます。

本町の水道は昭和二十八年に給水を開始して以来、簡易水道その他民営の各種水道が町内全般に普及し、その普及率は七〇%に達しておるものと推定されますが、地下水などの変動による水量不足や汚染による飲用不適などによって各地区から施設の整備が要望されております。

上水道については昨年八月、幕別地区に新浄水場よりの給水を開始し、十二月からは札内地区の一部にも給水いたしており、本年度は札内市街地区を中心に配水本管を布設する予定で、これに併行して各戸給水工事も施工いたしたいと考えています。

しかし、札内地区の国道三十八号線の拡巾問題、給水予定区域内の区画街路などの関係で、区画整理事業実施後でなければ水道管の布設が困難な地区もあり、事業実施にあたっては関係住民と充分協議いたしたいと思っています。

水道料金の改定につきましては前議会で議決をいただきましたが簡水の一部についても今回提案いたしておりますので、よろしくご審議をいただきますようお願いいたします。

なお、かねてよりご指摘ありました水道事業会計における事務部門給与費の一般会計への計上は取りやめ、水道事業予算の中に計上いたしました。

国民宿舎
経営状態はきびしい 体質改善で対処

次に国民宿舎事業について申しあげます。

最近の社会的諸情勢から経営の実態は極めてきびしいものがあります。本年度は特にこれらに対応した経営の体質改善に意をもちいなければならず、具体的なこととしては国民宿舎運営委員会の答申を尊重し、これを実行していくほか経費の削減と節約、宿舎内外の整備をはかりたいと存じます。

宿舎整備のうち多額の費用を必要とする事業は自主財源の確保が困難であるため一般会計からの貸付金により実施いたしたいと考えます。

宿舎の魅力づくりとサービスの向上を期すため食堂、休憩室、厨房などの増改築も必要でありますが、これらについては起債等の確保ができれば実施いたしたいと存じます。

以上、町政執行に関する私の所信と基本的な方針ならびに新年度予算の概要について申しあげましたが、このときにあたり私は住民の希求する方向を見定め町の発展と住民生活向上のため全職員とともに最大の努力をいたす覚悟であります。

梅田教育委員長——教育行政方針
豊かな人間性をめざす

教育委員会から昭和五十一年度の教育行政の執行方針をご説明いたします。

最近の社会経済の急激な変化にともない幾多の問題を生じている折柄、再び教育改革へむけて脱皮の動向にあります。

こう言った状勢の中にも教育本来の姿である豊かな人間性を育てあげていかねばなりません。

近来の多用化、複雑化を極める社会状勢を充分見極め、新時代を切り拓いて推進して行く教育を考察するとともに時代の状勢に対応

出来る。

○高い知性と創造する力
○豊かな心情と実践する力
○強い身体を鍛える態度

いわゆる児童、生徒一人一人が心身の健全な発達を指標とし学校教育の充実に努力をいたしてまいりたいと存じます。

また、社会教育につきましては多様化、高度化する教育的課題に対応するためには学校教育、家庭教育を通して社会教育の有機的な連携と補完を図り、豊かで明るく住みよい環境を創りあげ、なお一層住民と密着した社会教育の推進を必要と考えるものであります。

その充実、振興を図るために自主的、主体的活動を目的とし、成人教育、家庭教育学級、婦人青少年を中心とした学習の強化、町民の健康と体力の増進のため日常のスポーツ活動、レクリエーション活動にすすんで参加する意欲が高まるよう配慮する所存であります

さて、五十一年度の教育予算は四億八千四百八万一千円で前年対比一五パーセント、六千四百七十五万二千円の増となっております。

このうち、事業費は二億六百十四万四千円で全体の四二パーセントを占めております。

また、経常費につきましては二億七千七百九十三万七千円となっており、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努力してまいりたいと存じます。

新川、大豊、西猿別小を統合

幕別小学校新築に着手

今年度の主な事業は新川、大豊西猿別の各小学校を併合、統合校舎として幕別小学校の新築に着手します。

場所は幕別中学校の隣接地で、普通教室十八、特別教室七、特殊学級教室一の鉄筋コンクリート二階建、四千三百七十六平方㍍の校舎と八百十二平方㍍の屋内体育館を総事業費約六億七千万円で新築いたしますが、昭和五十一年度を初年度とし三か年計画で実施いたします。

今年度は校舎千二百八十八平方㍍を一億七千八百九万二千円の事業費で実施いたします。

また、教職員住宅の新築事業はへき地教職員住宅として糠内地区に一戸、昨年に引き続き共済組合住宅を幕別、札内地区に六戸を考えております。

新築と決定した幕別小学校

社会教育委員を二名増

次に社会教育の振興でありますが、成長段階に応じた学習の実践化、スポーツの生活化、文化の振興、社会連帯意識と責任ある行動能力の体得などを目標として、町づくりの基本となる自主的活動に重点をおいて推進するとともに地区住民の学習と余暇の効果的利用促進のため、社会教育委員を更に二名増員いたし各機関、諸団体および学校教育と密接なる連携を保ちつつ推進いたしたいと存じます

教育機器は年次計画で

次に教育施設の整備でありますが、昨年完成をみました札内中学校の環境整備、教育機器の充足を必要としますが、多額の費用を要するので年次的に計画を樹て完備いたしたいと存じます。取得しました用地については本年度より七年間で償還することになります。

なお、白人小学校肢体不自由児学級教室の新築は、今回は留保し次回といたしましたので、ご了解願いたいと存じます。

白人、新川小は一学級増

営繕につきましては校舎および住宅修繕費として六百七十三万七千円を計上、緊急を要する場所より実施していきたいと考えております。

学校教育振興については教材、教具などにたいしては年次的計画により内容の充実を図るとともに教職員の研修および関係機関の行事には積極的に参加させるべきと考えております。

なお、学校の状況を申しあげますと、小学校十四校、中学校四校で変りなく、小学校児童数は千六百七十五人で前年度より十九人の増、うち白人小学校五十人、新川小学校が四人の増となり、それぞれ一学級増設いたします。

中学校生徒は八百四十七人で幕別中学校は前年度より十三人の減少、他の三校は若干増加をみております。

教職員は百五十八人となります。

札内地区の発展とともに児童数も増えています

青少年の健全育成に重点

青少年問題では、子供会の結成促進と活動の強化、青少年の健全育成、勤労青少年の学習活動およびサークル活動の育成、助長などを促進いたしますが、本町の立地

51年度の 町の台所は

高齢者対象の学習講座も

条件からみて青少年の健全育成に特に配慮を必要とするため幕別、札内、糠内の三地区に青少年相談員を置き、地区住民と連絡を図りつつ健全育成につとめたい、と考えております。

なお、今年度から札内地区にも学童保育所を開設いたします。

次に成人教育の振興ですが、家庭教育の振興、PTA、婦人団体などの団体活動の育成強化と指導者の養成、各種成人講座の開設促進などを重点とし、学習機会を更に強めるとともに今後は高齢者を対象とした講座も取り入れていきたい。

公民館活動の充実のため中央公民館と地区公民館の連絡協調、公民館運営協力委員会の自主活動の助長、定期講座、各種開放講座の開設などを推進いたしたい。

芸術文化活動の振興のため創作活動と鑑賞活動の奨励、公演会、文化祭、展覧会などの開催または後援等を重点とし文化の普及を図ってまいりたい。

次に文化財の保護管理、図書館活動および視聴覚教育の充実ですが、埋蔵文化財の調査発掘および文化財保護管理の強化。図書の充実と読書活動の普及、読書グループの育成。視聴覚教材器具の整備充実と放送利用の促進等を目標とし推進してまいりたい。

スポーツの日常化を

社会体育の振興ではスポーツ少年団の育成強化、職場・地区・町ぐるみのスポーツ活動の促進、軽スポーツの日常化を図る、体育スポーツ団体の連絡協調、体育施設の整備拡充と活用を図るなどを目標とし積極的に推進してまいりたいと考えております。

これら社会教育費につきましては六千二百七十一万六千円を計上いたし執行してまいる所存であります。

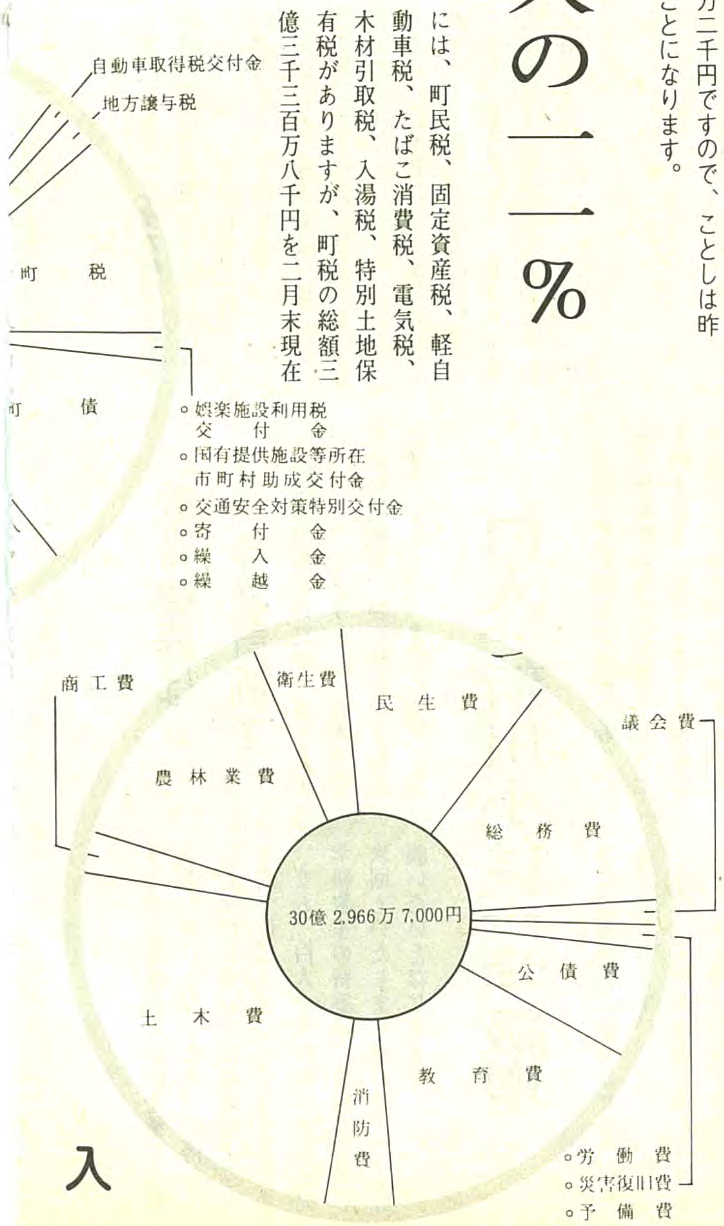
町税は歳入の一一%

昭和五十一年度の予算がきまりました。町長の町政執行方針説明にもありますように、一般会計は三十億二千九百六十六万七千円、特別会計八億九千五十九万四千円、この合計は三十九億二千二十六万一千円となります。前年の昭和五十年度当初予算の総額が三十三億八百七十七万二千円ですので、ことしは昨年より一八・五%予算が増えたことになります。

さて、一般会計の歳入、すなわち役場に入るお金の内訳をみますと、図表のように、最も多いのは地方交付税の三六・七%、次いで国庫支出金の一三・五%、町債の一二・五%、町税一一%、道支出金九%、諸収入五・六%の順となっています。

皆さんから納めていただく町税には、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ消費税、電気税、木材引取税、入湯税、特別土地保有税がありますが、町税の総額三億三千三百万八千円を二月末現在の人口で割りますと、生れたばかりの赤ちゃんからお年寄りまで年間一万七千七百六十七円の税金を町に納めていることになります。

町では皆さんから納めていただく大切な税金や地方交付税、国庫支出金などを、有効に使用するため、いろいろと検討を重ね、その使いみちを決めたのが、一般会計歳出なのです。



幕別小統合校舎新築に
一億七千八百九万二千円

歳出の内訳は土木費、すなわち道路・橋の管理・維持・新設・道路舗装のほか、市街地の街路事業土地区画整理のための費用、ことしから実施する公共下水道のほか公営住宅の建設、管理などに全体の二五㌫にあたる七億五千六百十七万八千円を計上しています。

次いで教育費の四億八千四百八万一千円、総体の一六㌫にあたります。

教育費の内訳は幕別小学校統合、校舎の建築費に一億七千八百九万二千円、スクールバス管理費に四百四十三万二千円、小学校および中学校の管理費に七千百五十万三千円、小中学校の教育振興費に二千六百三十七万六千円を、それぞれ計上しています。このほか、こどもから温水プールの管理を教育委員会で実施しますので、その予算も組んでいます。

教育費に次いで多いのは総務費で全体の一三・九㌫、四億二千百二十万一千円。総務費は職員の給料、手当、役場庁舎および近隣センターの管理、町営バス運行費、町有林の管理および造成のための費用、税務関係、本町の進むべき方向を策定する企画および統計などの仕事の予算で、このほか広報まくべつの印刷費も含まれています。

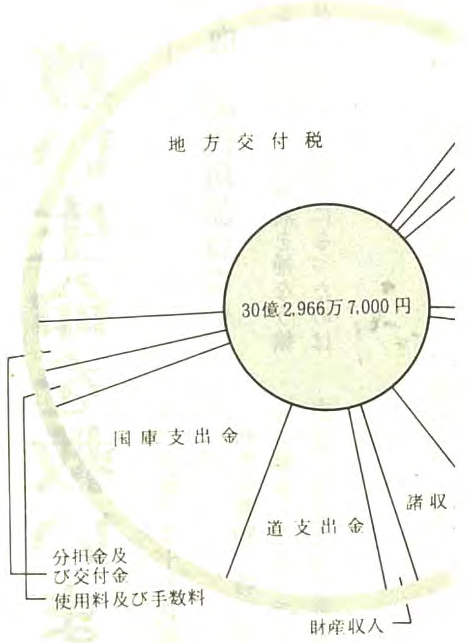
基幹産業である農業振興のため全体の一三・六㌫、四億千百十三万三千円が農林業費として計上されています。

農林業費の主なものは農業振興費の一億二千八百三十五万三千円土地改良事業費の五千六百九十万五千円、育成牧場費の四千九百七十二万七千円、農道整備事業費の四千六百五十七万円が主なものとなっています。

また、民生費は三億六千二百四万七千円で全体の一二㌫。常設保育所費に九千百二十九万八千円と前年度より約三倍に、へき地保育所費に千六百六十一万八千円と、これまた前年度の約六倍に増額しております。

このほか、国民年金事務費に九千二百十五万八千円、医療無料化に関係ある老人福祉費に六千五百五十一万五千円を計上したのが、主な内容となっています。

このように土木費、教育費、農林業費、民生費で全体の六六・六㌫を占めているのが昭和五十一年度当初予算の特色といえましょう。



歳出

〝交通事故を追放しよう〟
体験発表など町民のつどい盛況

交通事故による加害者、被害者の悲しみ苦しみを幕別町からなくしたい、という願いをこめて「交通安全町民のつどい」が三月十六日、町民会館に多数の方々が参加して開かれました。

この町民のつどいは事故死ゼロ五百日達成を記念して開催予定でしたが、事故死ゼロが四百七十七日でストップしたため内容を変更し開催したものです。

まず、犠牲者にたいする黙祷をおこなったのち、町長、交通安全会長から「町民全員の努力で幕別から交通事故を追放しよう」と挨拶。十勝支庁長（代）からは交通事故多発地帯の幕別で四百七十七日間もの事故死ゼロを達成したことは、すばらしい事実であり、今後も交通事故追放に努力してほしいと祝辞がありました。

また、各界の代表者の挨拶がありましたが、老人クラブ代表の塚本さんは「年寄りは動作がにぶく また信号に注意しない者も多いので車を運転される方はよろしくお願いします」と参加者に呼びかけました。

このあと町長から交通安全功労者の杉本清一郎さんに表彰状、松野健一さんに感謝状を、交通安全協会長からは武田豊一さんら二百十九名の優良運転者に表彰状を贈りました。

次いで体験発表「交通事故をおこして」、帯広警察署交通課長の講演「交通問題について」があり、最後に参加者代表の小岩勉さんが宣言文を朗読し、町民のつどいを終了しました。

一般会計歳入歳出予算内訳（款別）

単位 千円

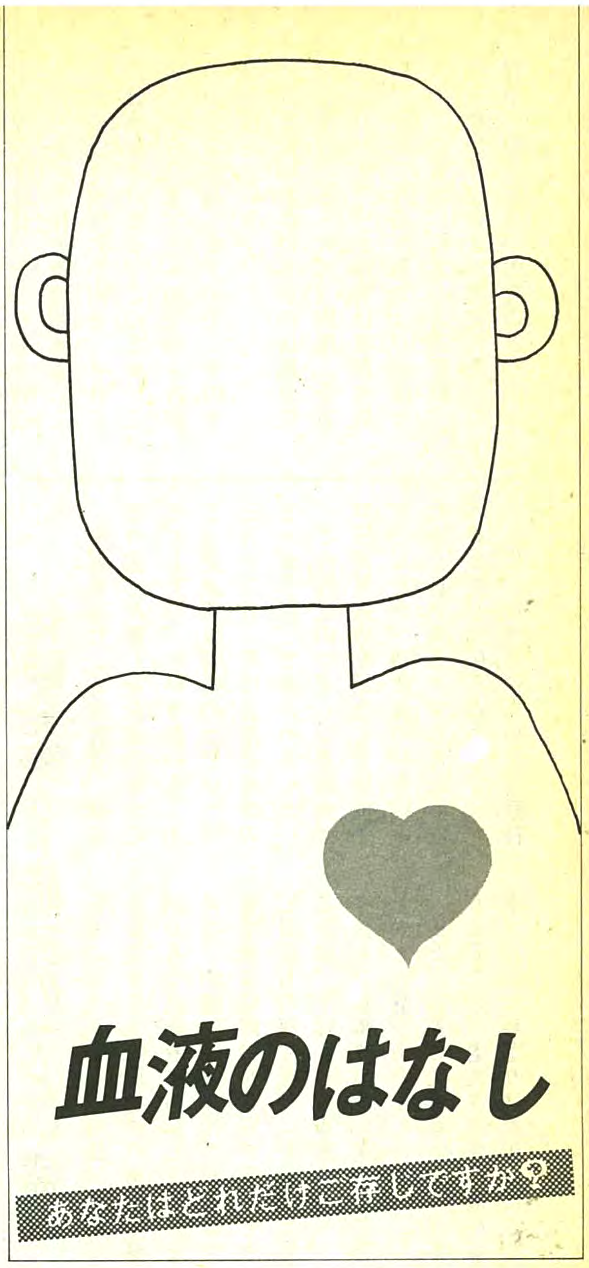
歳入

町税	333,008
地方譲与税	58,000
娯楽施設利用税交付金	6,825
自動車取得税交付金	42,000
国有提供施設等所在市町村助成交付金	296
地方交付税	1,112,800
交通安全対策特別交付金	2,200
分担金及び負担金	85,885
使用料及び手数料	70,930
国庫支出金	409,050
道支出金	273,929
財産収入	45,246
寄付金	11,742
繰入金	30,000
繰越金	200
諸収入	170,456
町債	377,100

歳出

議会費	44,410
総務費	421,201
民生費	362,407
衛生費	159,200
労働費	20,347
農林業費	411,133
商工費	65,970
土木費	756,178
消防費	106,726
教育費	484,081
災害復旧費	19,876
公債費	175,138
予備費	3,000

歳



血液のはなし

あなたはどれだけご存じですか？

あなたの献血が尊い生命を救います

人間の生命の源は血液です。人体の全血液量は体重の約八％にあたり、体をひとまわりするのに約十八秒という速さです。栄養物や酸素ばかりでなくホルモンや免疫物質の運搬、さらに血液は細菌、有毒物の除去、炭酸ガスなどの排泄物を運びだして、人間の体を守る重要な働きをしています。このように血液は大切なものですが、極めて複雑な生理作用をもった体の一成分ですから、人工的に作るということは、今のところ全く見込みありません。結局、人間の血を補なう（輸血）には人間の血をもってあてるしか他に方法がないのが現状です。

血液型

誰の血も赤い色をしています。しかし、一九〇〇年頃ランドスタイナーは血と血をまぜると、かたまってしまうことに気がつきました。そして、血液にはいくつかの種類があることを発見しました。それがA型、B型、O型、AB型です。

それから四十年後に、同じ血液型でもさらに違った種類があることがわかりました。それがRh(+)、Rh(−)だったのです。したがって、A型、B型、O型、AB型の四種類にそれぞれRh(+)とRh(−)があるわけで、血液は八種類に分けられています。

日本人のABO式による血液型の割合はA、O、B、AB型の順に四・三：二：一で、Rh型はほとんどがRh(+)で、Rh(−)の人は〇・五％、つまり二百人に一人の割合です。

病状によって多少の差はありますが、一人から二百ミリリットル

血液の代用品はない

失なわれた体の血液を補なう輸血が行なわれるようになったのは古い記録では十七世紀頃だといわれます。

初めは動物、特に小羊の血を人間に輸血したそうですが、動物の血は人間にとって異物であり、このためにかえって死者がでたので禁止されました。人間に最も近いチンパンジーの血であっても、人間に用いることはできません。血液の代用品として血しょう増量剤と呼ばれているものがありますがこれらは血球を含んでいないのであくまでも血しょうの一時的な代用の働きしかできません。

結局、人間の血を補なうには人間の血をもってあてるしか他に方法がないのが現状です。輸血には（牛乳ビン一本分）づつ採血して使用したとすると下の図のようになります。

血液の量は、成人の場合は体重の約八％と考えられています。したがって、体重六十キログラムの人では約四・八リットルあることになります。人は全血液量の四分の一を失なっても直接生命に危険はありませんが、三分の一を失なうと血圧が非常に下がり、二分の一を失なうと生命が危険な状態になります。

献血の場合、一回の採血量は二百ミリリットルですから体重が六十キログラムの人では、全血液量四・八リットルの二十四分の一に当たります。これだけの血液量が体の外に出ても少しの心配もありません。

それは全血液量のうちで実際に体内をまわっているのは約三分の二だけで、残りの三分の一は肝臓や骨に予備として収まっており、採血してもその瞬間に予備の血液が一時的に減少するだけのことだからです。

私たちの体は普通全血液量の一二％（体重六十キログラムの人で五百七十ミリリットル）までケガや採血で体外に失なわれても全く心配がないようにできています。

心臓手術	👤	7人
胃潰ようの手術	👤👤	11人
肺の手術	👤👤	14人
胃がんの手術	👤👤👤👤	24人
人工心肺	👤👤👤👤👤👤	30人

（👤は5人、👤は1人）

Rh(−)友の会を結成

ABO式、Rh式にかかわらず同じ血液型の血液を使うことが必要です。

道内の輸血必要量

道内では、一日におよそ六百二十本（一本二百ミリリットル）以上の保存血液が必要です。最近の傾向として病症にあった輸血の方法がとられるようになりました。そのため新しい血液がますます多く必要になってきています。

そして、血液は保存できる期間が短いために、いざというときに充分な量がないのが現状です。

Rh(−)とは

最近、Rh(−)が特に問題となっています。日本人の場合、A型Rh(−)は五百人に一人、B型Rh(−)は六百六十六人に一人、O型Rh(−)は千人に一人、AB型Rh(−)は二千人に一人と、Rh(+)に比べ非常に少ないので輸血用血液がなかなか手に入りにくい問題があります。

このほか、Rh(−)の母親から生まれたRh(+)の赤ちゃんが、新生児溶血性疾患と呼ばれる病気にかかることがあり、死亡率がかなり高くまた、一命をとりとめても脳性小児マヒを起して一生苦しむことも多くあります。

しかし、今日では交換輸血といって体の血液を全部取りかえることで救うことができるようになりました。

血液の比重が低い方へ

血液の比重（水の重さを一としたときの血液の濃さ）が、厚生省の定める基準（一・〇五二）より低い場合は採血できないことになっており、この低比重による採血不適格率の男女差はいちぢるしく、これを昭和五十年の幕別町での実績をみると下の表のようになります。

新しい血液は益々必要になっています。

採血できなかった人

(50.1～12)

受付者数	低比重	血圧・体重など
男 559人	1人	6人
女 338	43	3
計 897	44	9

このように女性の低比重が多いのは、男女の血液中の赤血球数の違いによるもので、必ずしも不健康を示すものではありません。

また、血液の低比重は全体的に増える傾向にあります。この原因として、健康な人の場合には、栄養のかたより、過労、睡眠不足などが重なると血液の比重が下がります。女性では生理、妊娠によっても下がります。

しかし、これらは決して病気ではないので、原因がなくなるとすぐ回復します。①正しい食生活（朝食ぬきは健康の敵）、②適度の運動③休養（特に睡眠）が健康をつくる三つの柱です。

献血者優遇制度

(1) 血液代金の自己負担金を国が負担することになりました。

この制度は、国の補助により輸血を受けた方が、血液代金のうち医療費の自己負担分（医療機関に支払った額）を申請によって給付を受けるものです。実質的に血液代金が無料になるしくみです。

(2) 献血しておくと血液を使用したときの輸血料が無料になります。

この制度は、献血された方に対し謝意を表わすもので、献血者とその親族が輸血を受けたとき医療機関に支払った自己負担分を、次の範囲で支給するものです。

(イ) 過去三年以内に一回以上献血している人は輸血量の全量まで。

(ロ) 六十五歳以上七十歳未満の人、または七十歳以上で老人医療費の対象にならない人は過去三年以内に親族が三回以上献血していた場合に輸血量の全量

(ハ) 過去三年以内に親族が献血している場合は献血量の総量まで。

この申請は道内の血液センターで受け付けています。

Rh(−)とは

最近、Rh(−)が特に問題となっています。日本人の場合、A型Rh(−)は五百人に一人、B型Rh(−)は六百六十六人に一人、O型Rh(−)は千人に一人、AB型Rh(−)は二千人に一人と、Rh(+)に比べ非常に少ないので輸血用血液がなかなか手に入りにくい問題があります。

このほか、Rh(−)の母親から生まれたRh(+)の赤ちゃんが、新生児溶血性疾患と呼ばれる病気にかかることがあり、死亡率がかなり高くまた、一命をとりとめても脳性小児マヒを起して一生苦しむことも多くあります。

しかし、今日では交換輸血といって体の血液を全部取りかえることで救うことができるようになりました。

もし、AB型Rh(−)の人が事故にあい輸血を必要とした場合、同じ血液一リットルを集めるには約一万人の人から献血をしていただかなければなりません。交通事故が多発している現在、血液センターにはある程度の量は用意されていても、必ずしも充分とはいえません。

Rh(−)友の会（高橋平明会長）はその心配を少しでもなくする目的でつくられました。Rh(−)の血を持つ方々がお互いに連絡をとり、もし血液が必要なときはすすんで血を分け合う用意があれば、どんなに心強いかわかりません。

また、常に自分の血液と同じ血液を持っている人の住所・氏名を記入したカードなどを持っていれば、事故にあったときなど輸血に際して医師の側もどんなにたすかるかわかりません。

Rh(−)に限らず、献血をしたことのない人も一度献血して、自分の血液型を知っておくことはたいへん大事なことです。

献血車ひまわり号は、あなたのために今日も走りつづけています。

四月からの献血は五月二十四日、二十五日、八月三十一日、十月二十一日、二十二日となっていますが、場所は未定ですので決まりしだいお知らせします。

ご協力をお願いします。

町内５ケ所で町政懇談会

町民参加で手づくりの町政を

ふえる要望 地方財政危機 我慢しあうことも

町民の皆さんから、いろいろな建設的な意見、要望を聞き、これを町政に反映させようと、二月十七日から二十日までの四日間、五つの会場で町政懇談会を開催しました。

町政懇談会に出席された方々の意見、要望を大きくわけますと、市街地区および郡部地区の持つ悩み、要望にわけられますが、人口増加と過疎という相反した問題をかかえている本町の町政執行は、財政的な問題もありますが、要望が多岐にわたるため、これら問題解決までには、かなりの年月を必要とするものもあり、また、懸案の大事業を実施するという現状からお互いに我慢してもらう場合もありうる、ということを感じた町政懇談会でした。

なお、町政懇談会の席上、大石町長は「町民全員が参加した手ずくりの町政」を強調、住みよい明るい街とするために協力をお願いしました。

『町づくりを町民自身の手で』と、熱心な話しあいがされました。（札内地区で）

札内駅前広場を舗装

▼札内福祉センター（十七日午後六時）

札内福祉センターでは伸びつづける地区を象徴するように下水道および上水道の問題が最も多く、道路の舗装、歩道の新設、団地内の雑草処理、防犯灯、防火水槽の新設、あかしや地区と市街を結ぶ跨線橋新設などの要望がありました。

また、交通安全についても皆さんの事故防止の認識はたかく、標識新設依頼や狭いスクール・ゾーンにバスの乗り入れを許可したのは納得いかない、という声も出るなど、終始、熱心に話しあいがおこなわれました。

なお、大石町長は白人第二小学校の新築は幕別小学校新築最終年度に実施する。危険校舎である古舞小学校の早期新築、札内駅前広場および札内農協スーパー（あかしや）から保育所までの道路舗装を、五十一年度に実施する予定であることを明らかにしました。

上水道に質問が集中

▼札内北近隣センター（十八日午後七時）

前日の札内福祉センターと同様水道指定業者について、水道の工事費、団地内の簡易水道を上水道が完成をみた後も使用して良いかなど上水道問題に質問が続出しました。

また、団地内の歩道新設、不在地主の雑草処理のほか、近隣センターの境界を明確にしてほしい、町では地元で生産されている製品を使用するべきである、などのご意見もありました。

札内北地区は、今後の発展を左右する区画整理事業という大きな問題をかかえているだけに、区画整理にたいする関連質問が多く、また、身近かな問題である雨水、汚水の処理計画、調整区域の特別許可などについて熱心に話しあいをおこないました。

幕小新築は今年度から

▼幕別町民会館（十九日午後七時）

幕別地区は参加人員が少ないため、町長と話しあう会に変更、それぞれ膝をまじえて話しあいました。

出席者からは冬期間で良いから南勢地区より通学している中学生もスクールバスを利用させてほしい、という要望。大型の道営住宅を建設したが全部入居しない場合はどうするか、という疑問。道路上に事故車または廃車と思われるものが放置されているが、なんとかならないか、という質問もありました。

この席上、大石町長は、幕別小学校は昭和五十一年度から三カ年計画で新築に着手する。町民待望

の下水道事業を五十一年度から実施するが、この事業には町民一人あたり八十万円という費用を必要とする大事業であるので皆さんの協力を願いたい。

幕別運動公園は五十一年度と五十二年度で一応完成する。

道路関係では駅前から旭町に通ずる火防線の路盤改良と簡易な舗装を。平和通り北側（宝町）の改良工事を実施することを明らかにしました。

出張所前広場を舗装

▼糠内公民館（二十日午後一時三十分）

大石町長は、ことしは幕別町の開基八十年にあたるので町民全員で祝いたい。農薬の空袋、空瓶を回収処理するため音更町と協議中である。糠内出張所前の広場を五十一年度から二カ年計画で舗装する、と説明、次いで土木課長から糠内地区に関係のある道営の農業土木関係事業を明らかにしたのち質疑にはいりました。

参加者からは糠内中学校の出入口で車が一時停止出来るようにしてほしい。明倫近隣センターに電話架設を。ことしも温泉無料券を高台を除雪の際は退避場を設けてほしい。道々幕別大樹線の巾員が狭い。高額医療についてなどの要望や質問のほか、農業後継者対策、新生活運動の再検討についての提言もありました。

農業後継者に花嫁を

▼駒畠公民館（二十日午後六時）

集乳路線である六線道路の路盤改良。西三号十三線から十四線までの三百間の道路工事を早急に実施してほしい。

道々豊頃尾田停車場線の舗装時期は。農地開発事業で実施した幹線明渠のコルゲート管布設個所が豪雨で流されたので復旧してほしい。

町道から畑までの私道に砂利を入れてほしい等々の道路問題についての質問、要望が多かったのも駒畠地区の特色でした。

また、農地開発事業で雑用水の工事を実施しているが各支線までの工事費が莫大なので相当の助成を。合理化のため出張所の職員を減員する計画と聞くか現状のままにしてほしい。公民館の利用が多く、また狭いので新築を。などの要望がありました。

このほか福祉バスの巡回や糠内地区同様に農業後継者問題、特に花嫁対策に町でも力を入れてほしい、という声もありました。

湿害対策と土づくり

一、湿害とは

土壌中の水分が増加し土壌中の空気の容積が減少するため、地上とのガス交換が阻害されて、土壌中の酸素の欠乏が生じ、作物の根への酸素供給が不足となり、根の機能障害がおこることです。

(1) 畑作物の耐湿性の順位

▼比較的強いもの

とうきび＞大豆＞小豆

とうきびの場合は十日でもあまり影響がでません。

▼非常に弱いもの

てん菜＞菜豆＞ばれいしょ

てん菜の場合は四日くらいから障害がではじめ、一回障害をうけると、茎葉の場合はもどるが、根部には影響があらわれます。

(2) 排水工法と注意事項

排水の効果をあげるためには、五十センチより深くから出る場合は暗渠（渠間十五メートル、渠深一メートル）で十分ですが、五十センチより少ない場合には、暗渠間隔をちぢめる、浅暗渠導水材料で暗渠埋めもどし、また暗渠、心破などの併用を行ないます。

表－1　菜豆の湿害

（高水位持続日数の影響）

処理	子実重	同比率	莢数
無処理	24.7g	100%	19.3
開花期地下水位10cm（4日）	16.4	66	13.7
開花期地下水位10cm（10日）	0.9	4	2.0

表－2　菜豆の湿害

項目	子実重	比率
無処理	36.5	100
生育初期高水位（10日）	10.9	30
開花期	6.6	18
子実肥大期	28.1	77
熟期	31.1	85

表－3　豆類の耐湿性の比較

作物	子実重 無処理 (A)	子実重 開花期高水位 (B)	B/A×100
菜豆	36.5	6.6	18
小豆	51.0	25.1	49
大豆	63.3	48.6	77

二、土づくり

地力の維持増進をはかるためには、堆肥などの有機物の施用がより効果的です。

堆肥は徐々に分解してゆっくりと効果を発揮するものですから、堆肥の効果をただ一年の作物の生育でみるわけにはいきません。

堆肥連用試験の結果からみると堆肥を一・五トン連用した場合には、地力が維持されているとみることができます。堆肥を連用した跡地土壌の化学性をみると、堆肥の施用、無施用、および施用量に応じて非常にはっきりとした差異のあることがわかります。

つまり、有機物を施用することによって土壌の理化学性が変化すると同時に、作物の収量水準も上がっていきます。

地力の維持増進は、長い年月をかけて方向性と確信をもってやっていくことでしょう。

幕別町農業技術推進協議会

子どもの人格を大切に

家庭教育学級研究大会

去る二月二十二日、町民会館で百六十人のお母さんが参加して家庭教育学級生研究大会が開かれました。

分科会では事例発表を通して子どもの家庭教育について、さまざまな角度から話しあわれました。その中で次のような提言がありました。――『親は自分の子だから、また親子だからという特別な愛情関係にまどわされず、「子どもにも人格がある」「家庭を構成する人間」と、見かたを変えることが大切です。「お前は子どもだ」ときめつけず、一人の人間としての子ども、人格を子どもなりに身につけている人間としてみつめる目こそ私たち親が持たなければならない条件かもしれません』

そのうえで子どもを育てる条件ができるのではないでしょうか。

「親の権威がなくなった」と嘆くだけでは問題は解決できません。

分科会での事例発表……

町民見学会に参加してみませんか

―5月から再開します―

町内の施設および事業の進みぐあいを実際に確かめていただくとともに参加された方々の卒直なご意見を町政の進展に役だたせることを目的に企画しました「町民見学会」は、毎年五月一日から十月末まで実施していますが、ことしも五月から再開いたします。

町民見学会に参加する方々は年に多くなっています。広報まくべつや新聞紙上などで幕別町の新らしい施設が完成したことは知っていても、実際に自分の目で確かめて、おどろきの声をあげるお年寄り、同じ幕別に住んでいながら、幕別がこんなに広いとは……とびつくりするご婦人なども珍らしいことではありません。

見学会のコースは下記の凸版にある施設見学が一般的ですが、このほか町内であれば、どのようなコースを決めてくださっても結構です。

申し込み　町民見学会は町民課にあります「申し込み書」で、お申し込みください。他の申し込みと重なることもありますので遅くとも十日前までにお願いします。

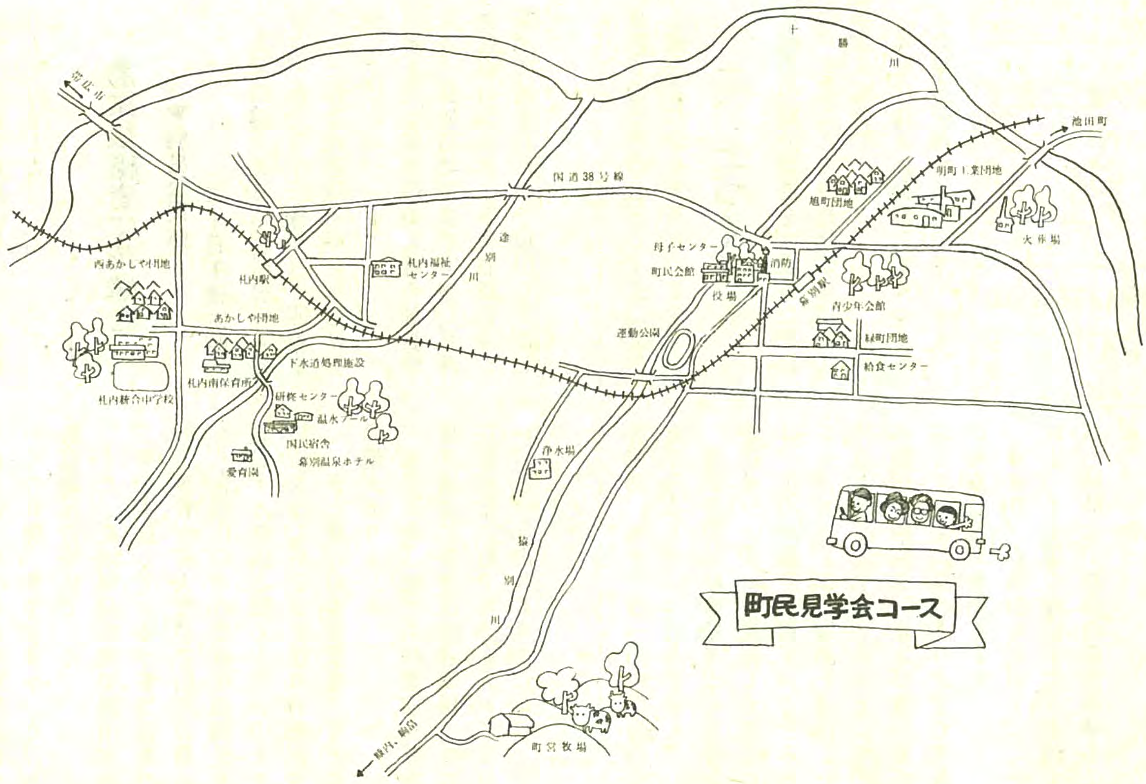
送迎　指定の場所まで送迎いたします。ただし、その場所は一カ所としますので、皆さんが集合しやすい場所を指定してください。

経費　バス運行による費用は無料です。給食センターでの昼食代または幕別温泉での昼食代は参加者から実費でいただきます。

その他　見学コースを決めて運行中に、コースの省略または変更はいたしません。見学時間は幕別温泉の休憩時間を含めて午前九時三十分から午後三時までとします。

なお、幕別温泉の休憩料は無料ですが、満館の場合もありますので早目に申し込んでください。幕別温泉での休憩申し込みは、参加者が直接、幕別温泉に申し込み願います。

このほか、町民見学会について くわしく知りたいときは町民課にご連絡ください。



1ケ月30円で最高80万円まで

町村民交通障害保険

みなさんはもう加入手続お済みですか、月々わずか30円の掛金で最高80万円の保障、町では町民のみなさんの交通事故の保障をと、数年前からこの交通傷害保険制度を実施しています。すでに、みなさんのお手元にパンフレットがお届きの事と思います。

町内では、今年に入りすでに二件の死亡事故が発生しています。いつどこで交通事故にあうかわかりません、万一の時を考えてまだ加入されていない方はすぐに役場町民課又はお近くの支所、出張所にてお申し込み下さい。

加入は、町内に在住されている方もしくは町内へ通勤通学されている方ならどなたでも加入できます。また保険金は日本国内において車両に乗っていて、衝突したり つい落、てん覆したりした事故に支払われますので、事故にあわれた場合は、役場町民課まで来て下さい。手続の用紙をお渡しします。

また、今年新しく小学校に入学される子供さんは、町で一年間この交通傷害保険を掛けますので家庭で加入しなくてもけっこうです。なお、事故にあわれたり、起した時にはすぐに警察に届けて下さい

佐々木さんらに叙勲

勲章、位記の伝達式を実施

三月十一日に未伝達勲章および位記の伝達式が役場会議室でおこなわれ、大石町長から、それぞれ手渡されました。勲章および位記は兵役にあった方またはその他の功績によって贈られるものが、いろいろな事情で遅れ、今回伝達されたもので、叙勲の栄にかがやいた方々は次の通りです。

勲五等瑞宝章　山田　栄（五位）
勲五等瑞宝章　斉藤毅雄（旭町）
勲七等瑞宝章　佐々木タニ（依田）
勲七等瑞宝章　萩野敬一（古舞）
勲七等瑞宝章　山内　保（札内）
勲八等瑞宝章　中寺常次郎（田）
従七位　武山輝彦（駒畠）、正七位　井口善七（軍岡）

なお、次の戦没者にたいしても旭日章が伝達されました。

二川新一（兄・二川正市）　錦町
蓮井末治（甥・蓮井兼夫）　緑町

叙勲の伝達を受ける萩野さん

柔道連盟で昇級審査会

幕別町柔道連盟（山田栄会長）と十勝柔道連盟幕別支部（安部政夫支部長）主催による第十三回定例昇級審査会が三月七日、午前十時から青少年会館で開かれました。

この日の審査会には昨年発足した幕別柔道少年団札内分団からも三十名が参加して行なわれました。

〔審査結果〕

▼講道館三級　飯沢常造（札内駅）・三井英治（幕中）　▼少年部二級　久保英孝（札中）　▼同三級　遠藤強（札中）　▼同四級　鈴木勝夫（札中）・辻浩司（幕小）　▼同五級　具森耕司（白小）・辻正秀（幕小）　▼同六級　梅田昌明・松井孝介・渋川忠雄（以上幕小）・長内繁・林盛裕・高橋弘泰（以上白小）　▼同七級　永沢幸二・高木孝行（以上幕小）・高橋渉・長内保・守護雅富・奥山佳典・竹重順応・片山昌昭・吉田博之・小村明弘・白山勝敏・高田聖治・岡田弘恵・夏井りか・花本美喜江・中寺雅美（以上白小）

また、審査終了後、幕別柔道連盟後援会（宮垣敏男会長）は、柔導連盟結成当時に指導にあたってきた折笠政弘さん（幕別農協）と金野忠さん（町教育委員会）にたいして感謝状をおくり、「今後も地域の青少年のためにがんばってください」と、ねぎらいのことばをおくりました。

健康メモ

成人病（その2）

適度な運動を毎日

成人病とは、脳卒中（脳血管疾患）、癌、心臓病、糖尿病など四十歳代に多くみられる病気の総称です。

前回（広報三月号）は脳卒中につながる高血圧についてお話ししましたが、今回は心臓病についてとりあげてみます。

私たちの身体は心臓から送られてくる血液によって養われていますが、心臓の厚い壁はそのまわりをとりかこんでいる冠状動脈という血管から送られてくる血液で養われています。この冠状動脈は動脈硬化をおこしやすく、中年過ぎの人で心臓の筋肉に血液が十分にいきわたらなくなると障害をおこすのです。

〔日常生活の基本的な注意〕

① 身体的、精神的過労をさける。

② 適度な運動や体操を毎日おこなう。私たちの身体には適当な刺激と体養が必要です。すべてが便利になった現在生活の中では、身体を動かすことが少なくなったようですが、歩くこと、体操、スポーツなどは冠状動脈の老化を防ぎ身体の血流を順調にします。

③ 肥満にならないように。標準体重以上の人は、それだけ心臓血管系統によけいな負担をかけるおそれがあります。必要以上に炭水化物や脂肪をとると、余分なものは脂肪として体内にたくわえられ肥満の原因となりますから、総カロリーの制限をします。そのためとくにごはん、菓子、甘い果物はひかえ、野菜や海藻類はたっぷり食べるようにしましょう。

④ お酒は適量に、飲みすぎないように。また、副食を食べながら飲むようにしましょう。

⑤ たばこは心臓、血管、呼吸器に悪いのでひかえるようにすること。

以上のことを毎日の生活の中で注意しながら、異常がなくても、年に一回は健康診断を受け、自分の身体は自分で管理することに心がけましょう。

手作りの保存食

ジャムや水煮など、せっかく手作りにしても保存の方法が悪ければ無駄になります。家庭でできる長期保存の方法としては、ビン詰が便利です。

〈方法〉貯蔵専用ピンまたはねじぶた式でゴムのパッキングやポリエチレンフイルムがついているもの（マヨネーズ、ジャム、つくだに類の空ビンでも可）

保存びんはよく洗い、使う直前になべに水を注いで火にかけ煮沸殺菌します。そして、作りたての食品を手早くつめます。（口元までいっぱいに詰めずに九分目程度にします）一度きっちりふたをしてから一センチほどもどし、加熱したときに中の空気がぬけるようにしておきます。次に加熱殺菌用のかまの底にふきんを敷き、ビンを入れ、ビンをかぶるくらいに水を入れ煮沸した後にビンをとり出して、す早くふたをきっちり締めて保存します。（酸性のジャムジュース類は十五分、無酸性のものや水煮などは五十分以上煮沸）

殺菌後のビンはすぐ湯からとり出し、手でさわれるくらいにさめたら、ぬるま湯から水へと、できるだけ早く完全にさまします。

保在場所は直射日光があたらずほこりのかからない涼しい所におきます。家庭ビン詰はあまり長くおくと風味が変わるので保存は一年以内に。**資料提供・消費者協会**

春は火災のシーズン

野火に注意

雪どけとともに野火の発生が多くなります。

野火が発生するたびに付近の住宅やその他の建物が火災の危険にさらされ、自分はもちろん、他人の財産を失うことになります。

このような危険をとり除くためにも、市街地等の空地の管理をしなければなりません。東十勝消防事務組合火災予防条例では「所有者又は管理者は空地の枯草等の燃焼のおそれのある物件の除去又は火災予防上必要な措置を講じなければならない」ように規定されています。

空地の所有者（管理者）は、枯草を刈り取って焼却するか、空地から取り除いて野火などによる延焼の危険がないようにしてください。

焼却して処理するときは、事前に消防署へ届出るとともに、付近の居住者に了解を求めて、危険のないようにお願いします。

消火器の知識

一般家庭に備えられている消火器は、ほとんどがＡＢＣ粉末消火器か強化液消火器などです。

ＡＢＣ粉末消火器とは、Ａ（普通）、（Ｂ油）、（Ｃ電気）のどの火災にも適応し消し止める能力をもっている消火器です。また、小型化されているので軽量で、たいへん使いやすくなっています。

薬剤は保管場所によって異なりますが、詰め替えをしなければなりません。（点検を受け、薬剤が固まっていなければ消火能力は低下していません）

強化液消火器の場合は、粉末消火器にくらべると薬液は長持ちしますが重量が重くなります。油火災などには、粉末消火器にくらべ消火能力がおとります。また、零下三十度以下になると薬液が凍結して消火能力がなくなります。

最近では、一般家庭でも灯油などの危険物を保管することが多くなっていますので、消火器購入のときはどの火災にも適応して消し止める能力のあるＡＢＣ粉末消火器を一家に一本そなえるようにしましょう。

〔消火器管理上の注意〕

1　湿気の多い場所に置かない

2　一・五メートル以下の高さで見やすい場所にかけておく

3　置き場所をあまり変えない

お誕生おめでとう

上野　栄樹（行博・長男）新和
佐々木ゆき（幸次・長女）日新
長谷　隆司（忠雄・長男）寿町
前川真由美（敏春・長女）明倫
山口　貴徳（高美津・三男）緑町
笹本　栄作　富士夫・長男）旭町
矢嶋　香織（喜則・長女）札内
国武　仁美（三男・長女）札内
新屋敷竜也（千年・長男）旭町
辻　春美（鐵夫・長女）緑町
佐藤はと子（熙征・二女）軍岡
近石　理絵（奨・長女）寿町
佐藤　全弘（昇・二男）札内
中高　建一（豊・長男）依田
鈴木栄利子（茂夫・二女）札内
進藤　大典（啓一・長男）旭町
神山　直子（徳一・二女）札内
矢野　幸恵（義則・長女）札内
佐藤　洋輔（喬・長男）札内
佐々木勝俊（勝男・三男）札内
広川しおり（雄司・長女）依田

敬称略

ご結婚おめでとう

氏原　英俊＝光　子（千葉）錦町
那須　将生＝妙子（小山田）本町
南口喜和男＝真　弓（伊藤）依田
永井　準一＝ケイ子（高橋）旭町
浅川　保＝島子（谷地田）札内
鈴木　数吉＝恵　子（中谷）札内
森本　徳治＝早知子（竹本）南勢
和田　松雄＝由美子（大岡）途別
佐藤　隆雄＝悦　子（吉村）旭町

敬称略

おくやみもうしあげます

五十嵐泰原さん（明野）七十四歳
乾　栄子さん（緑町）三十一歳
竹内コスエさん（明野）八十六歳
辻　ちよさん（美川）五十歳
山崎　ヨノさん（寿町）六十四歳
坂本ふじ子さん（新川）七十四歳
吉田　トメさん（札内）九十一歳

篤志寄付ありがとうございます

三万円　安田清さん（千住）より
母が生前お世話になりましたと札内老人クラブへ二万円、町社会福祉協議会へ一万円を。
千円　匿名の方より、今月も少しですがと町社会福祉協議会へ。
三万円　橋本雅弘さん（糠内）より、父が生前お世話になりましたと糠内老友会へ。
五千円　札内大師講（宗岡フクさん他）より、町社会福祉協議会へ。
一万円　河合一広さん（札内）より社会福祉協議会へ。
十万円　坂本博さん（新川）より母が生前お世話になりました。交通災害などで困窮されている方へお役立てくださいと、町社会福祉協議会へ。
テレビ一台　蓑島一見さん（南町）より町民会館へ。
電話一台　脇坂猛さん（千住）より千住西近隣センターへ。

グアテマラ地震に救援金を

新聞や、テレビなどでご承知と思いますが、去る二月四日に中南米のグアテマラ市とその周辺を襲った大地震は壊滅的な被害を与えました。

現在、赤十字社を中心とした救援活動が活発にすすめられています。日赤幕別分区でも救援金を受け付けますので、町民のみなさんのあたたかいご協力をお願いします。救援金の受け付けは、四月二十日まで、役場民生課・札内支所、糠内出張所で行なっています。

お問い合わせは役場民生課福祉係まで。

日本赤十字社幕別分区

〔ＮＨＫ市町村だより〕　四月十三日、午後六時五十八分から幕別の話題が放送されます。